

第3次おかやま夢づくりプラン（仮称）策定方針

1 策定の趣旨

- ・新おかやま夢づくりプラン（第2次プラン）の中期行動計画が平成23年度に最終年度となることから、第3次おかやま夢づくりプラン（仮称）を策定する。

2 プランの期間

- ・長期構想は、平成32年（2020年）頃を目標年次とする。
- ・中期行動計画は、平成24年度（2012年度）を初年度とし、平成28年度（2016年度）を目標年度とする5カ年とする。

3 策定の考え方

- ・長期構想については、第2次プランで描いた「目指すべき岡山の姿」を引き続き目標とするが、東日本大震災が我が国全体の社会経済構造にもたらす大規模な変革や、国民意識の大きな変化を見据えた修正を行う。
- ・中期行動計画については、「目指すべき岡山の姿」を展望しながら、5カ年間に本県が果たすべき役割を明確にするとともに、東日本大震災の影響やアジア経済の目覚ましい成長など第2次プラン策定後の時代の変化等を的確に捉え、「選択と集中」の観点から構築する基本戦略の下、効果的かつ効率的に展開すべき重点施策等を盛り込む。
- ・県民と目的や目標を共有するというプランの役割を踏まえ、「県民目線に立った分かりやすさ」と「県から県民へのメッセージ性」を重視する。

4 プランの構成

(1) 基本的な考え方

- ・県政の基本目標である「快適生活県おかやま」の実現に向けた基本的な考え方、プランの性格、期間などを明らかにする。

(2) 長期構想

- ・東日本大震災がもたらす大規模な変革などをはじめとする時代の潮流を踏まえ、本県の発展可能性や果たすべき役割を明らかにする。
- ・第2次プランで描いた「目指すべき岡山の姿」（安全で安心な活力ある地域で、人々の心が通う『いきいき岡山』、中四国の拠点として、グローバルに発展する『きらめき岡山』、世界とつながり自立した『中四国州』）を掲げる。

(3) 中期行動計画

- ・東日本大震災の影響やアジア経済の目覚ましい成長など特に重視すべき時代の変化への対応方針や県民へのメッセージなどを基本方針として記載する。

- ・時代の変化、県民ニーズ等を踏まえ、次の4つを基本戦略とし、多様な主体との協働の取組を通じて、目標の実現を目指す。

〈基本戦略〉

- ①安全・安心な地域づくり
- ②将来を担う人づくり
- ③発展につながる産業づくり
- ④豊かで潤いのある暮らしづくり

- ・基本戦略には、5カ年間に重点的に取り組む戦略プログラム（施策群）等を盛り込むとともに、数値目標として指標を設定する。

(4) プランの進め方

- ・開かれた県政の推進、分権型社会への対応、行政評価によるPDCAサイクルなど、プランを的確に推進するための方策について明らかにする。

5 策定スケジュール

- ・プランは、概ね次のスケジュールにより策定する。

平成23年 5月	策定方針公表
7月	骨子公表
8月	素案公表、パブリックコメント
12月	議案提出

6 策定の進め方

(1) 幅広い意見を踏まえて策定

- ・県議会の意見はもとより、県民意識調査の結果を踏まえるとともに、各県民局での地域懇談会の開催、さらにはホームページ、広報紙、青空知事室やマルチメディア目安箱などを活用し、幅広い県民の意見を伺いながら策定を進める。
- ・また、「おかやま発展戦略会議」の提言を踏まえるとともに、県政オピニオンや県内有識者等からの意見を伺いながら策定を進める。

(2) 県庁が一丸となって策定

- ・各部局や県民局が連携するとともに、若手職員や女性職員の意見を積極的に取り入れるなど、「政策県庁」にふさわしく県庁が一丸となって策定作業に取り組む。